

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

Vol.13

2018.6.30

Rotary International District 2690 《2017-2018》



2017-2018年度
国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2017-2018年度地区ガバナー

池上 正

Contents

- 2.....地区ガバナーメッセージ
- 3.....地区代表幹事退任挨拶
- 4~7.....ガバナー補佐退任挨拶
- 8・9.....高梁RC・米子東RC・玉野RC周年行事開催報告
- 10.....トロント国際大会参加報告
- 11.....米山奨学生オリエンテーション・歓迎会開催報告
- 12.....RYLA開催報告
- 13.....ローターアクトリーダーシップフォーラム・新旧引継会開催報告
- 14.....ローターアクト地区大会・下半期活動報告
- 15.....青少年交換新旧引継会・送別会・壮行会開催報告
- 16・17.....2017-18年度植樹プロジェクト報告
- 18.....地区財団活動資金使用報告
- 19・20.....地区便り(2018年5月)
- 21.....出席報告(2018年5月)
- 22・23.....地区便り(2018年6月)
- 24.....出席報告(2018年6月)

水島コンビナートは地域企業と連携して世界に輝きます。
〈写真提供:日本ゼオン(株)水島工場〉





ごあいさつに代えて ～変わることが出来ただろうか～

地区ガバナー

池上 正

第2690地区の皆さま、一年間ご支援いただきましてありがとうございました。

私はロータリーでの経験が浅くガバナーが務まるかどうか不安でした。イアン H・S・ライズリー会長も言っていましたが、「国際協議会では一向に変わらなかった、変わったのは一年後」と。私は、クラブ会長そしてガバナーとしていろいろな機会に参加し、自分でも気が付かないうちに徐々にロータリーに対する考え方が変わってきたように思います。

○世界から学ぶ：国際協議会・国際大会

時差に悩まされつつ始まったサンディエゴの国際協議会。ぼんやりした頭に強烈なパンチを食ったことは事実であります。それは会場の熱気です。世界のロータリアンのRIへの信頼感を見た思いでした。

アトランタ国際大会ではロータリーの力をまざまざと見せつけられました。ポリオ撲滅を支援するビル・ゲイツ氏の講演、ジャック・ニクラス氏とRI副会長との対談、各国政府責任者による合計12億ドルの支援約束がありました。

○先輩から学ぶ：私が触発を受けたロータリアン

渡辺好政元RI理事には私が倉敷南RC会長の時にPETSでお会いし「奉仕を通じて平和を」の講演を聞きました。渡辺元RI理事はクラブの奉仕活動について、「木に例えれば、根はクラブ奉仕、幹は職業奉仕、枝・葉が社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕などその他奉仕活動である。職業奉仕が中核・中心、それと4つのテスト、意味するところは会社を存続させること」と明解に説明されました。私はロータリーでの経験があまりないままで会長をお受けしましたので、まさに目から鱗が落ちた思いでした。

この「職業奉仕」は、しかし、気がかりな表現でした。他の奉仕活動はそのままの表示で意味が通りますが「職業奉仕」だけはそうはいきません。私は「笑顔で Service」を地区スローガンに掲げた松本ガバナーの下でガバナー補佐を務め

させていただきました。松本ガバナーが「奉仕」を「Service」と表示しているのは意味があることを「PETS」で説明しています。「Vocational Service」が元の英語表現で、これはキリスト教文化を基準にしているということを説明されました。「Service」には広い意味があり「実践・実行」が適していると思い当たりました。

○他地区から学ぶ：同期ガバナー

当2690地区にない活動のいくつかを例示します。

*災害への対応

2016年熊本地震・2018年福岡洪水と山崩れ：2720地区、2700地区ガバナーの対応

*会員増強の大躍進

第2840地区ガバナーの決断と実行

*文化の違う地区をカバー

第2750地区（グアムなど南太平洋地区）

*情報の宝庫

第2660地区（戦略計画委員会）、第2680地区（RYLA）

有益なアドバイスをいただき、ガバナー同期は従弟妹以上兄弟以下というパストガバナーのコメントを実感しています。

○地区から学ぶ：クラブ訪問

そしてなんといっても当2690地区です。昨年の7月から今年の3月まで地区クラブのガバナー公式訪問を行いました。所属クラブしか知らない者にとって、例会運営、クラブ活動をそれぞれが多彩に行っていることを知り、大変刺激になりました。如何にロータリーが多様・多彩でクラブが歴史と伝統に基づく活動をやっておられるかを知り、認識を新たにしています。ポール・ハリスも言っていますが、まさにロータリーのクラブの数だけロータリーがありました。

環境は人を変えます。たとえ高年齢であっても。まさに「我以外我師」と感ずる一年でありました。国際ロータリー第2690地区の皆様、ありがとうございました。



地区運営を振り返って

地区代表幹事

廣本 孝良 (倉敷南RC)

お陰様で、地区内の会員の皆様のご協力、ご支援を戴きまして、何とか無事、池上ガバナー年度を終えることができました。心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと、ガバナーノミニ、エレクト、本番と約3年間、池上ガバナーの秘書として支えてきました。池上ガバナーの意を理解し、運営にあたったつもりでしたが、満足されたのかどうかわかりませんが、私の能力を精一杯傾注したつもりです。

しかし、この様なお役は私のような高齢者より、もっと若く頭脳明晰な方が適任と思っていましたが、案の定、予想通り失態の連続で、パストガバナーやガバナー補佐の皆さん、また、各クラブの会長幹事の皆さんにご迷惑やご心配をおかけする事が多々あった様に思います。それでも、ロータリーの素晴らしい寛容の精神で、私の失態を鷹揚に受け止めて頂き、感謝申し上げます。

地区代表幹事をお受けして先ず、地区大会や地区研修・協議会の会場を押さえることから始めました。

次に、委員会構成の作成に入りましたが、地区委員会の多さにびっくりしました。その為に各委員会の職務を理解する事から始めましたが、中々理解できずに終わってしまったようで反省しきりです。

反省点といたしまして、幾つかの委員会の事を述べさせていただきますが、驚きましたのは、ガバナーの意を受け入れないで委員会の人事を決める事です。数人の委員が毎年同じ委員会に所属し、長い委員は10年以上に渡って在籍していて、まるで個人の専従委員会のような形態で、この委員が在籍しないとその委員会の運営が機能しないかのように錯覚されていて、果たしてこの委員会は適正な奉仕委員会なのか疑問に感じました。各委員会の委員構成は、ロータリーのルールに従ってガバナーの責任において決めるとなっていると思いますが、いかがでしょうか。

また、委員会として存在はしていますが、活動は殆んどしていない委員会があります。この様な委員会も存続意義が本当にあるのだろうか疑問に感じました。

以上、私が感じた委員会活動の実態をご報告いたします。終わりに当たり、事務局を支えて頂きました高田一、岡清一両副代表幹事を始め、庶務幹事の皆さんやガバナー事務局員の方々に深甚なる感謝を申し上げます。有り難うございました。

ガバナー補佐 退任挨拶



第1グループ
田中 清
(鳥取中央RC)

第1グループガバナー補佐退任にあたり、一言御礼申し上げます。2016年6月図らずもガバナー補佐に推薦され、12月第1回次期ガバナー補佐会に出席しました。その後の次期ガバナー補佐会のみならず、PETS、地区協議会、財団・増強セミナーなどで研修を受け、やっと補佐としての自覚ができた次第です。毎年ロータリーで行われるスケジュールのおかげと実感しました。池上正ガバナー、森田昭一郎研修リーダー並びに倉敷南RC・地区委員会の皆様にはご苦労をおかけしました。

2017年6月20日倉吉RCを皮切りに、第1グループ8クラブを順次訪問しまし

た。各クラブの会長・幹事・会員の皆様、事務局の皆様に温かく迎えていただき感謝申し上げます。各クラブで個性あるクラブ運営を知り、素晴らしいロータリアンに出会うことができました。

第1・第2グループの合同IMでは、第2グループガバナー補佐井上賢明様、ホストクラブの米子東RCの皆様には大変お世話になりました。

当初、補佐就任について躊躇しましたが、大変いい経験になりました。本当に有難うございました。



第2グループ
井上 賢明
(米子東RC)

ガバナー補佐の責務としてRI会長のテーマ、地区ガバナーのスローガンを読み解き、グループ内それぞれのクラブの活性化、増強に向けての助言が出来ればとクラブ協議会、例会に出席してきました。

第2グループは5クラブで、日頃よりゴルフや野球で親交があり、情報交換もやりやすく、和気あいあいと訪問させて頂きました。しかしながら抱えてる課題は様々です。規模の大小により事業内容は異なりますが、会長を中心に地域貢献、ロータリーイメージの向上にと努力され、事業を推進してる姿を見させていただきました。私自身大いに刺激を受

け、役目が全うできたか分かりませんが、今後のロータリー活動に活かしていきたいと思います。

終わりに貴重な経験の場を与えてくれました米子東ロータリークラブの皆様、同期のガバナー補佐の皆様、池上ガバナーをはじめとする地区役員の皆様に心より感謝申し上げ挨拶とします。



第3グループ
中村 寿夫
(松江RC)

第3グループ5クラブの会長、幹事を始め、各クラブの会員の皆様には、大変お世話になり、有り難うございました。

クラブ協議会や例会訪問等を通じて、各クラブが、制約がある中で、工夫を凝らして様々な活動を展開しておられることを知り、改めて感銘を受けました。各クラブの活動は、他クラブの参考になるものが少なくありませんが、これまで、これらの情報が他クラブに伝達されることはあまりありませんでした。そこで、松江市内の4クラブについては、今後、クラブの活動状況報告書を他のクラブに送付することを提案し、実行してもらい

ました。また、グループ内のクラブの連携強化も提案させていただきました。今後、グループ内の各クラブが他のクラブから刺激を受けることにより、更なる活性化につなげることができたらと願っています。

ガバナー補佐の活動により、様々なことを学ばせていただきました。多くの人との出会いもありました。トロントで開催された国際大会への参加の機会も得、トロント経由で行ったキューバ旅行も忘れられない思い出となりました。

充実した1年半を過ごさせていただいたことに、心より感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐 退任挨拶



第4グループ
岩永 邦夫
(大社RC)

この度第4グループのガバナー補佐を退任するにあたり、寄稿せよとのことで、大変恐縮しております。約20カ月前、この大役をしっかりと務められるだろうかと不安なスタートを切りました。しかし、5クラブの会長、幹事と交流を重ねるうちに「案ずるより産むが易し」と言いますか、皆様方の格別なご支援ご協力を得て、数々の諸行事をやり遂げることができました。深く感謝し御礼申し上げます。

クラブ協議会では、5クラブともそれぞれの地域に根差したクラブ運営を実践しておられ、私も勉強になりました。また、イアンH.S.ライズリーRI会長が提唱

された植樹では、5クラブ合同プロジェクトを立ち上げ、大勢のロータリアンにご協力いただきました。出雲文化伝承館の前庭にこの後、いつまでもきれいな花や木が育つことでしょう。

いたって浅学非才、力不足で色々ご迷惑をおかけしたと思いますが、今後この貴重な経験をロータリー活動に生かせるよう、努力したいと思います。

最後になりましたが、池上ガバナー、各グループガバナー補佐の皆様方の温かいご友情に感謝して、退任の挨拶とさせていただきます。



第5グループ
波多野 諭
(大田RC)

ガバナー補佐を退任するにあたり一言お礼を申し上げます。第5グループの各会長・幹事をはじめロータリアンの皆様には大変お世話になり感謝しております。

年度当初のクラブ協議会にはじまり、IMの参加要請などで訪れるごとに、温かくまた厳しく接して頂いた出会いと友情が宝物となりました。

地区内最小のグループですが、クラブがそれぞれの地域特性を活かして親睦と奉仕に邁進され、活動を運営されている様子に感銘を受けました。第5グループは小粒でもびりりと辛いと強く感じました。

地区大会、第3・4・5グループ合同のIMへの参加も多くの方に協力いただき、成果を上げることができました。特にIM

においては、松江RCより全員登録を頂くなど会費UPにもご賛同いただき改めて御礼申し上げますとともに、池上正ガバナー、松本祐二バスターガバナーのご支援・ご指導に感謝しております。

ホストの大田RCには、一時体調を崩しご迷惑をおかけしましたが、齊藤会長をはじめ会員、特に若手会員のご尽力で実行頂きました。力不足のためグループの皆様方には十分な職責を果たすことができなかったことを申し訳なく存じますが、ロータリアンとの出会いを大切に、これからのロータリー活動に活かしてゆきます。

第5グループをはじめ地区内のRC会員各位のご健勝を祈念し、退任の挨拶と致します。



第6グループ
国定 謙作
(笠岡RC)

第6グループ内の各クラブの会長・幹事をはじめ会員の皆様方には大変お世話になりました。一年に亘るガバナー補佐の役目を無事に終えることができ、御支援頂きました皆様方に心から感謝と御礼を申し上げます。

訪問させていただいた8クラブは、それぞれ歴史があり、その地域に根差した個性と特異性をもってロータリー活動を行っておられたことに改めて新鮮さを感じましたし、クラブアッセンブリーでは担当の委員長から事業説明をお聞きするたびに私自身も大きな学びを得ることができました。また、4回に及ぶ会長幹事会とその懇親会を通じて、それぞれの

会長・幹事の皆様方と親密な意思疎通を図ることにより、効果的なグループ運営が出来たのではないかと思います。

最後になりましたが、第6グループと各クラブの今後益々の御活躍と御発展を祈念申し上げて御礼と致します。ありがとうございました。

ガバナー補佐 退任挨拶



第7グループ
大久保 憲作
(倉敷RC)

私がロータリーへ入会して31年半、10年おきに節目を経験しました。10年目に自クラブから橋本譲さんがガバナーに就任され、初めて地区を身近に感じました。20年目には私自身がクラブ会長を拝命、ロータリーの事を本気で考えた1年でした。そして31年目にガバナー補佐の大役を与えられ、私のロータリーライフにとって集大成の年になりました。

30年もロータリー教(?)の薫陶を受けていますと、やはりそれなりのロータリアンになるものですね。門前の小僧習わぬ経を読む…の類でしょうか。でもやはりロータリーは深く難しい。

若い頃は、ロータリー活動と自分自身

そして、自分の会社とは、それぞれに別ものであると思っていましたが、大いなる勘違いでした。今やっと、それらが同心円上にあると感じ始めています。皆様はいかが思われますか。

池上年度のRIテーマは「ロータリー：変化をもたらす」でしたが、結局、私自身に少なからず変化をもたらした1年だったのと、今頃になって気付きました。

支えて下さった全ての皆様に感謝申し上げます。お礼の言葉といたします。



第8グループ
高原 孝
(美作RC)

「どうぞ楽しんでください」大きな役職を経験された方から、この言葉をたくさん頂きました。この度の役を受けた時、美作ロータリークラブの皆さんや他クラブの方々からは、「頑張って下さい」と励まされ、第一回次期ガバナー補佐会に気を引き締めて伺いました。何かしら違う雰囲気には最初は戸惑いがありましたが、徐々に気持ちも和らぎました。

松本パストガバナーとお話をする機会があり、その時のお話は、『時間とお金を使い頑張ってロータリーで得るものは?』各クラブを訪問した時や、多くの人前でお話をさせて頂いた時の「ロータ

リーは、リスペクトできる友人を多く得ることが出来る」等、勿論他にも得ることは多いですが、わかりやすく納得できるものでした。

ガバナー補佐の役目を全うするに当たり、池上ガバナーはじめ地区の皆様、第8グループ並びに第9グループの皆様にはIMやクラブ訪問では大変お世話になりました。今後この度の経験を活かして、ロータリーライフを充実させ貢献したいと思います。

振り返ると、楽しめた気がしています。お礼を申し上げます。ありがとうございました。



第9グループ
丹羽 英喜
(岡山RC)

池上ガバナーのいきなりのトム・クルーズの「トップガン」の映像。これで緊張がほぐれ、地区のスローガン「Take Action」が飲み込めました。第9グループの6クラブの会長・幹事・会員の皆様には大変お世話になりました。

第8・第9グループ合同IMでは、美作RC岡崎会長、尾高実行委員長には全て準備していただき、美作での懇親を深めることができました。心からお礼申し上げます。

特に感じたことを2つ。会員増強、赤磐RCは現在12名。創立10周年記念事業「愛しい者たちへ、孫への手紙」や、2011-12年の地区補助金を使った「21世

紀を生きる力に、孫からの手紙、未来への手紙」等、素晴らし事業を行っています。しかし最低20名以上の会員は必要です。

今年、残念ながら地区補助金の申請が目標に届きませんでした。地区補助金・グローバル補助金の活用は大変重要です。今、継続と持続の可能性が求められています。

池上年度のRIテーマは、“MAKING A DIFFERENCE”。ガバナー補佐のこの1年間は私自身に一番変化をもたらしてくれたのかも知れません。

今も進行形です。できなかったこと。グローバル補助金に「チャレンジ」!

ガバナー補佐 退任挨拶



第10グループ

小田 慈

(岡山中央RC)

18年前、岡山中央RCに入会させていただいた際に、いくつかの“掟”を初代会長の大田原俊輔先生から教えられました。その第一が、“役職を依頼されたら決して断らないこと!”でした。未熟な知識しか持っていないにも拘わらず、お断りすることなくガバナー補佐を拝命し、エレクト時代を含めて2年間にわたり池上正ガバナーのもとで、10名のガバナー補佐の方々とともにRC活動に奉仕できたこと、本当に貴重な経験をさせていただけたと、会員の方々に心から感謝しています。何回か訪問させていただいた、岡山南、岡山北、旭川、玉野そしてホームクラブである岡山中央RC

の方々には、いくら感謝しても感謝しきれない気持ちです。

ご一緒にIMを開催した、森末英男第11グループガバナー補佐をはじめ、岡山岡南RCの皆様とのお付き合いは末永く続くと確信しています。皆様のご健勝をお祈りいたします。ありがとうございました。



第11グループ

森末 英男

(岡山西南RC)

この度、1年半のガバナー補佐の役目を無事終える事ができました。これも偏にグループ内の会長、幹事をはじめ会員の皆様方のご協力の賜物と感謝いたします。

ガバナー公式訪問の前に、各クラブの例会、協議会に参加させていただいて感じたことは、各クラブがその各々の特性を活かし奉仕の理想に向けてしっかり取り組んでおられる様子を拝見し、感銘したことです。地区大会への参加と支援、第10・11グループ合同のIMの実施等々と多くの行事への参加を通じ、多くの学びと出会いがありました。特にIMの実施について、池上ガバナーからは

細かい指示もなく、寛容なお気持ちで我々を見守ってくださいました事に感謝いたします。

IMに係わった実行委員長、会長はじめ各委員、事務局等々と多くの方に支えられ、無事終える事ができました事に改めて御礼申し上げます。

皆様との出会いを大切に、これからのロータリライフに活かしていきたいと存じます。最後になりましたが、第11グループ6RCの益々の発展を祈念申し上げます。

2017-18年度 ガバナー補佐会 開催日程記録

第1回 次期ガバナー補佐会	2016年 12月11日(日)	岡山コンベンションセンター
第2回 次期ガバナー補佐会	2017年 2月12日(日)	倉敷アイビースクエア
第3回 次期ガバナー補佐会	2017年 5月21日(日)	倉敷アイビースクエア
第1回 ガバナー補佐会	2017年 8月6日(日)	倉敷アイビースクエア
第2回 ガバナー補佐会	2017年 10月21日(土)	倉敷アイビースクエア
第3回 ガバナー補佐会	2018年 1月21日(日)	倉敷国際ホテル
第4回 ガバナー補佐会	2018年 6月10日(日)	吉井旅館

高梁ロータリークラブ 創立45周年記念式典を終えて



高梁ロータリークラブ会長

河本 正夫
(高梁RC)

平成29年10月29日(日)、創立45周年記念式典および祝賀会を高梁国際ホテルにて開催しました。高梁市近藤市長をはじめとする来賓の方々、RI第2690地区池上ガバナー、末長ガバナーエレクト、橋本パストガバナー、国定ガバナー補佐、またスポンサークラブ岡山西RC末吉会長、岩居幹事、友好クラブ下館RC中里幹事、また第6グループ各クラブの会長・幹事の皆様、また当クラブOB、カンボジア留学生など総勢91名で執り行いました。

当クラブは昭和48年5月6日に創立総会を挙行し22名の会員で発足いたしました。現在の会員数は42名、備中高梁駅近

くの高梁国際ホテルにて例会を行っています。創立45周年記念事業として「青少年の健全育成」「地域社会への貢献」「カンボジアへの支援」の3本柱を目標に掲げました。「青少年健全育成」では40周年から継続している吉備国際大学ソフトテニス部の指導による「中高生ソフトテニス教室」の開催と、第38回藤本杯争奪ソフトテニス大会の後援を行いました。「地域社会への貢献」では子供とお年寄りが安心して暮らせる町にすべく「交通安全教室」の開催と、市内の全小学生と老人クラブへ「交通安全グッズの配布」を行いました。

そして「カンボジア支援」では1998年より支援を続けているカンボジアへ「タケオ州プライカバス郡病院歯科診療科の開設支援プロジェクト等」を実行いたしました。この事業は橋本パストガバナー、また地区世界社会奉仕委員長の森田昭一郎様のご尽力により地区世界社会奉仕(DWCS)助成金を賜り遂行できました。そのお陰で休止となっていた歯科診療を再開させることができ、また岡山小学校、高梁サマメトレ小学校の改修工事なども併せて行うことができました。貴重な地区資金を賜り、改めてRI第2690地区の皆様深く感謝申し上げます。

式典では池上ガバナーより直々にDWCS事業の認定状を贈呈していただき大変よい記念となりました。記念式典を通して45年の歴史を振り返るとともに、社会貢献に対する意識を改めて感じることができました。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



DWCS認定状 伝達式



京都宮川町よりの嘉儀

輝け未来 ～受け継がれる 奉仕の心と新たな芽吹き～



米子東ロータリークラブ
創立50周年
実行委員長

井上 賢明
(米子東RC)

5月20日(日) ANAクラウンプラザホテル米子に於いて記念式典・講演会・祝賀会を開催いたしました。

池上正ガバナー、鳥取県知事平井伸治様はじめ多くのご来賓の臨席と友好RCソウル芸場RC、栄州RC、徳島阿南南

RC、また各地のロータリー野球同好会の皆様をお迎えし好意と友情を深める機会となり感謝申し上げます。

記念講演は弘兼憲史氏から「島耕作から見た人生100年時代の死に方」と題し講演をいただき高齢化時代に向けての過ごし方、対策について拝聴しこれからの人生の示唆をいただきました。

祝賀会はオープニングに美しすぎるバイオリニストAyasaの演奏で始まり、前日に開催されたポリオ撲滅チャリティーゴルフ寄付金を池上ガバナーに贈呈しました。最後にモノマネタレントの岡田聖子さんが登場すると会場総立ちとなり、抱腹絶倒状態のなかでお開きとなりました。当クラブの面目躍如です。

記念事業として市内の中学校に2台づつ電子黒板を贈呈しICT機器を効果的に活用することで教育の質の向上を期待しています。

また、「未来の自分応援プロジェクト」を市内高校生7チームによるパフォーマンスとミュージカル「甲子園だけが高校野球ではない2017」を上演し、地域の未来を担う子ども達に



対して目標に向かって前に進んで行くこと、自分を信じることの大切さを感じていただき活力を醸成することを目的とし開催いたしました。

米子東ロータリー112名は創立50周年を大きな節目とし、過去に敬意を払い、ロータリーイメージの向上に取組みまたクラブの活性化、増強を目指して更なる飛躍を願っています。今後もご指導のほど宜しくお願い致します。



玉野ロータリークラブ 創立50周年記念式典を終えて



玉野ロータリークラブ
創立50周年記念実行委員長

槌田 正則
(玉野RC)

玉野ロータリークラブは、創立50周年記念式典および祝賀会を平成30年5月20日(日)にダイヤモンド瀬戸内マリンホテルで開催いたしました。

当クラブは、1968年(昭和43年)5月24日に岡山南ロータリークラブをホストクラブに児島ロータリークラブをコ・ホストクラブによって創立されました。

記念式典には、岡山県知事 伊原木隆太様、玉野市長 黒田晋様 等多数の来賓の方々をお招きし、国際ロータリー第2690地区代表幹事 廣本孝良様をはじめ、元RI理事 渡辺好政様、パストガバナー 延原正様、パストガバナー 佐藤芳郎様、ホストクラブの岡山南ロータリークラブの会長幹事様、又県南17ロータリークラブの会長幹事様にご臨席いただき大変感謝申し上げます。友好クラブの大阪リバーサイドロータリークラブから会長 横田泰介様、幹事 高濱昌次様をはじめ多くの会員の参加をいただきありがとうございました。

記念事業として、玉野商工高等学校様への工具キャビネット一式、銚立保育園への防犯カメラ一式寄贈、森林火災で焼失した石島への植林、50周年記念樹植樹を深山公園で行いました。祝宴は県南17ロータリークラブの一員である岡山旭川ロータリークラブのメンバーのジャズセッションで大いに盛り上がりました。

以上のように50周年記念式典は実りのある式典になりました。これもすべて関係各位のご理解とご協力によるものです。あらためて感謝申し上げますとともにお礼を述べさせていただきます。

記念式典を通して私たちは玉野ロータリークラブ50年の歴史を踏まえ、今後とも地域社会に必要な奉仕活動を実践し、地域社会と一緒に成長、発展していく所存ですので今後とも皆様のさらなるご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





トロント国際大会 SAA

パストガバナー

松本 祐二
(益田西RC)

2018年ロータリー国際大会は6月24日～27日までの4日間、北米のカナダ、オンタリオ州トロントで開催されました。会場は「大会登録」、「友愛の家」、「各種分科会」などが開催されたメトロ・トロント・コンベンションセンターと「本会議」は数百メートル離れたエア・カナダ・センター（収容人員2万人弱のアイスホッケーとバスケットボールのスタジアム）の2か所で開催されました。例年通り開会式の2日前からロータリー平和構築サミットや、今年が創立50周年のローターアクト大会前会議、青少年交換役員大会前会議が開催されました。

かつて、当地区の伊藤文利PDGが担当された国際大会のSAAの役目を今回は私が受け持つことになりました。登録者数25,652人（日本からは約2,000人）の大会を46人の黄色のジャケットのSAAと、日替わりで参加するボランティアSAAで、大会参加というより運営を支えるスタッフとして初めて国際大会の裏側を経験することになりました。（日本からはSAAの私一人とボランティアSAAが一人）

トロントでは6月20日に朝9時から最初のSAAのミーティングが開催されるので前日に到着するようにチケットを手配しましたが、シカゴでの接続便が突然変更になり、トロントのホテルに入ったのは20日の午前2時でしたのでほとんど休む間もなくミーティングとなりました。翌日から午前7時からの打ち合わせで8時から会場に分散して、適宜、休憩や昼食をとって終了は早く

でも午後7時半という生活が1週間続きました。

一般の参加者の移動の流れの中に立っていて、何かを困っている雰囲気の人を探して声をかけることで、多くの方々との会話を楽しむ（一部苦しみ）ことになりました。大会3日目に分科会のフロアに立っていると、2014年1月のサンディエゴでの国際協議会で知り合った同期のガバナーで日系ブラジル人のサンパウロエアポートRCの紫牟田寛さんと4年半ぶりの再会をすることができました。また、2年ほど前にボリオのゾーンコーディネーターとしてエバンストンのロータリー本部での会議で同席したバングラディッシュのポリオゾーンコーディネーターとも出会い、同じ流れで背中を見て歩いていたらきっと会えなかった方々だったでしょう。

2690地区からの参加者からも声掛けをいただきましたし、日本の他地区のロータリアンでSNSのFacebookの友達とも交流ができました。世の中にはよく似た人がいるもので私とよく似たスコットランドからのボランティアSAAの方を紹介してくれたのは、ボランティアSAAの2570地区の大畑さんでした。

大会3日目や4日目は日本や韓国、台湾の方々の大半が観光に回られ会場から消えてしまい、他のSAAから「大金を使って来ているのだからもう少し大会に参加したらどうか」とご意見をいただいたことを披露させていただきます。





2018-19学年度 新規ロータリー米山奨学生 オリエンテーション並びに歓迎会開催報告

地区米山記念奨学委員長

佐藤 正浩 (倉敷南RC)

2018-19学年度新規ロータリー米山奨学生オリエンテーション並びに歓迎会が、平成30年4月8日に岡山国際交流センターレセプションホールにて開催されました。

ロータリー米山記念奨学会理事の橋本讓会員、ロータリー米山記念奨学会評議員庄司尚史会員、2690地区ガバナーの池上正会員、地区ガバナーエレクトの末長 範彦会員、地区代表幹事の廣本 孝良会員、ロータリー米山記念奨学会 学務・学友担当の武本康子様、地区米山記念奨学会の委員、2018-19 学年年度の奨学生、それぞれの奨学生の世話クラブのカウンセラーの方々、米山学友会会長の馬小菲様に出席していただきました。

開会の言葉を廣本 孝良地区代表幹事にいただき、ご祝辞を橋本讓ロータリー米山記念奨学会理事にいただきました。オリエンテーションを地区委員長より説明させていただき、奨学生の心構えや必須事項、義務、提出書類などについてとカウンセラーの役割などについて講話をいただきました。

歓迎会では庄司尚史ロータリー米山記念

奨学会評議員に乾杯のご挨拶をいただき、池上正地区ガバナーより奨学生ひとりひとりにバッジが授与されました。奨学生全員とそのカウンセラーにショートスピーチをお願いしましたが、短い時間でしたが皆さんの日本語は堪能で、内容も充実しており、非常に優秀な印象を受けました。最後に米山学友会会長の馬小菲さんから学友会の紹介があり、米山奨学生は奨学期間が終わってからが大切だと強調されていました。





RYLA開催報告

地区青少年奉仕委員長

樋口 順一 (倉敷南RC)

5月19日(土)、岡山県天神山文化プラザホールにて、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)を開催いたしました。各インターアクトクラブ、ローターアクトクラブそしてロータリークラブより推薦された青少年多数が参加し、ロータリーのポリオ撲滅運動の歴史と現状について学びました。

まず、RIポリオ撲滅コーディネーター 松本祐二パストガバナーに「RIのポリオ撲滅への道これまでとこれから」と題した講演をしていただきました。本当にあと少しのところまでポリオが撲滅しそうなのですが、そのあと少しが大変なこと、また全世界で撲滅しない限り、いつまでも全世界でワクチンを投与し続けなければならないこともわかりました。

次に、1964年公開の映画「われ一粒の麦なれど」を鑑賞しました。この映画は、一人の農政省官吏坂田昌義氏が小児麻痺(ポリオ)予防には生ワクチンの投与しかないと確信、奔走し、時の厚生大臣の生ワクチンの大量導入という決断までをも導いたものでした。白黒映画、そして1時間48分の

上映時間にもかかわらず、あっという間に時間が過ぎました。

講演、そして映画を見つめる青少年たちの瞳は輝いていました。ロータリアンのなかでさえ小児麻痺＝ポリオという認識のない人がいるなか、青少年にはポリオ(小児麻痺)とは何ぞやという人が多かったのではないかと思います。

今回のRYLA参加をきっかけにポリオに対する再認識、また、たとえ一人であろうと信念を持って行動すれば道は開けるということ。これらのことを頭に置いて地域のリーダーとして頑張っていたいただきたいと思います。

また、当日、ロビーには松本祐二パストガバナーが今年1月にインドにて撮影された「ポリオワクチン投与活動写真展」も同時開催され、RYLA参加者の他、会館を訪れていた一般の方々も興味深くご覧になられていました。

最後に今回のRYLA開催に協力して下さった関係の方々に深く感謝申し上げます。



地区からのご報告

RYLA 当日に集めさせていただきましたポリオ撲滅のための寄付金 66,000 円を、ロータリー財団ポリオプラスへ寄付をさせていただきました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



地区ローターアクト「リーダーシップフォーラム」 地区ローターアクト委員会「新旧引継会」開催報告

地区ローターアクト委員長

柳楽 克人 (倉敷南RC)

2018年6月3日（日）浜田市の浜田ニューキャッスルホテルにて、地区ローターアクト「リーダーシップフォーラム」が浜田RACのホストで開催されました。併せてフォーラム終了後、地区ローターアクト委員会の新旧引継会を開催いたしました。

「リーダーシップフォーラム」は2017－2018年度地区ローターアクトにおける最後であり、次年度に引き継ぐ大事な行事です。本年度、萩原一央地区代表（岡山RAC）は地区ターゲットを「共振」とし、「自ら波を起こし、他を同調させ、大きな波を創れる組織・人材になり、自らの成長のみならず、他の成長・組織の成長を加速させる。」を掲げ、地区行事・プログラム・交流活動を地区内RACの皆さんと共に行動し、池上ガバナーの地区スローガン「TAKE ACTION」「自ら行動することが大切であり、行動なくして達成はできない」を実践してきました。プログラムでは、今年一年の「波」を引き継いだ後野達也代表エレクト（浜田RAC）が次年度地区ターゲットを「わ」とし、

次年度の活動方針を地区内RACに伝え、共に行動することを誓い合いました。

また、フォーラム終了後、地区RA委員会新旧引継会を、新旧の地区RA委員会並びに地区ローターアクトの代表・幹事・代表ノミニーの参加をいただき開催しました。

最初に本年度各委員の報告後、委員長より総括として『1.RCとRACの関係強化』『2.RACの知名度アップ』『3.RACの会員増強（1クラブ20名）』の三点を上げさせていただき、次年度RA委員会活動に活かして頂きたいと申し上げました。前記三点は、地区RAや地区内RACの努力だけではなく、地区RA委員会、提唱RCのご協力・ご支援が不可欠であり、今後は地区RA委員会として地区内のRC皆様方にもRACへのご理解・ご支援・ご協力をお願いしていかなければならないと思います。

最後に、地区RA・地区内RAC並びに地区RA委員会の益々のご活躍をご期待申し上げますと共に、一年間お世話になりましたことにお礼申し上げます。





第41回 ローターアクト 地区大会開催報告

地区ローターアクト代表

萩原 一央 (岡山RAC)

5月12-13日に岡山市の国際交流センターで第41回地区大会を盛大に開催することができました。ご参加いただいた皆様をはじめ、日頃からご支援、ご協力をいただいた皆様に、御礼申し上げます。

この度の地区大会は、「起振」を大会テーマとし、参加いただいた皆様に新たな一歩を踏み出すきっかけになるような大会を目指し、メインプログラム等の企画・運営を行いました。

1日目は、1年間の地区及び各クラブの活動報告、今後のローターアクトクラブの目指すべき姿の提案、そして交流会を行い、今大会は地区外のローターアクターが約50人参加していることもあり、当地区のアクターが他地区の活発なア

クターと情報交換できる大変貴重な機会になりました。また、活動報告や今後の提案の際に、今期の地区の目標であった「目的や目標を持った活動」がしっかりできてきていることを再確認でき、今後の活動がより活発になっていくと確信しました。

2日目は、メインプログラムを中心に行いました。深刻な会員不足、アクターの熱量の違い等の現在全国的に問題になっているローターアクトの問題を取り上げ、問題に悩まされない「あるべきクラブの姿」を考え、バックキャストイングという手法を用い、3年計画でその姿を実現するための3ステップ・企画を考えてもらいました。リーダーのビジョン形成という部分を題材にした非常に難しい内容ですが、出てきた問題に対し、その場で対応するだけでなく、問題の根本を断ち切ったクラブを作ること（例：会員を増やすクラブ→会員の増えるクラブ）を考え、大変有意義な意見交換になったと思います。

今回の大会、ホストクラブのメンバーが、参加いただく方々に少しでも何か持って帰ってもらえれば、少しでもためになればと、日々考え、苦勞して準備しました。ローターアクトの「次世代のリーダーを育成する」という目的を少しでも感じていただき、皆様の「起振」に繋がっていただけたら幸いです。



ローターアクト下半期活動報告

ローターアクトは、いろいろな行事の企画・運営を通し、リーダーシップ、組織運営、企画運営を学び、次世代のリーダーとして活躍するため、日々活動しています。下半期もたくさんの行事を企画・運営し、しっかり目的・目標を持った活動をすることで、アクターの成長の場となりました。

- ・1月 国際交流行事（米子RAC）、ローターアクト勉強会（岡山RAC）
- ・2月 第2690・2710・2720地区冬季交流会（岡山RAC）
鳥取・島根分区分行事（浜田・米子RAC）
- ・3月 岡山分区分行事（倉敷南RAC）、全国RA研修会（茨城県）
- ・4月 会長幹事会（岡山理大RAC）
- ・5月 第41回地区大会（岡山RAC）
- ・6月 リーダーシップフォーラム（浜田RAC）

その他にも他地区の地区大会や行事にも参加し、たくさんの経験を

させていただきました。人数が少なくなった今、自地区だけに捉われず、他地区の良い所もしっかりと吸収していき、活動に活かしていきたいと思っています。

1年間「共振」を地区のターゲットとし、「自ら波を起こし、他を同調させ、大きな波をつくる」を合言葉に、アクターに「自ら考え、決断し、行動できる」人材を目指してもらいました。まだまだ足りない部分もありますが、目的・目標を持った活動を通して、来期、再来期とステップを踏んで成長していく団体になっていくと思います。是非、今後とも見守りながら、ご支援、ご協力いただけたらと思います。

最後となりますが、皆様の1年間のご支援、ご協力、誠にありがとうございました。



RID2740・2690地区交流会



ローターアクト勉強会



リーダーシップフォーラム



RID2690・2710・2720地区冬季交流会



第2690地区青少年交換委員会新旧引継会および 受入れ学生送別会・派遣学生壮行会のご報告

第2690地区青少年交換委員長

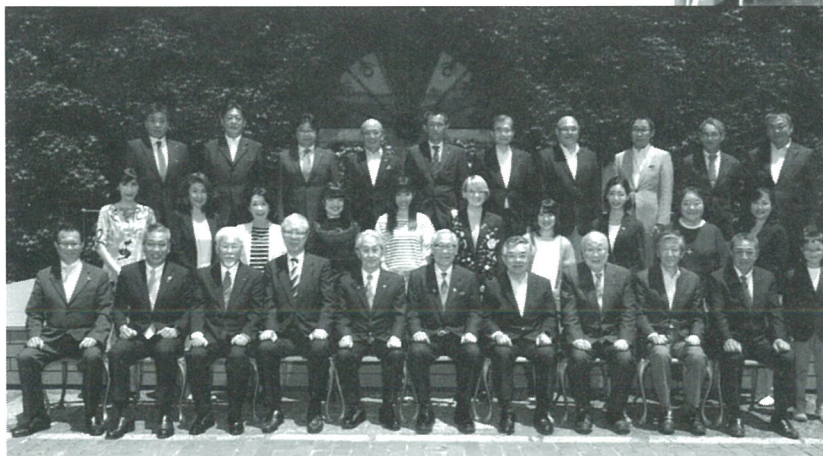
和田 一朗 (倉敷南RC)

去る6月16日(土)に倉敷アイビースクエアにおいて、第6回青少年交換委員会を開催いたしました。今回が最終の委員会となり、内容は新旧の引き継ぎとオリエンテーション、そしてメインは受入れ学生の送別会および派遣学生の壮行会でありました。この一年間は受入れ学生2名と派遣学生3名というイレギュラーな交換ではありましたが、受入れ学生のエミリーさんは既に帰国され、ジニアさんは7月24日に帰国されることが決まっています。またサクラメントに派遣されていた福武さんは無事に元気で6月29日に岡山空港に到着されました。難波さんが7月18日に、そして坂口君が7月31日に帰国予定です。元気な姿を見せてくれるに違いないと思っております。彼らの成長ぶりは今度の帰国報告会で聞けると大いに期待をしております。

次年度は3名の受入れ学生と3名の派遣学生となり、交換地区は浜田RC、米子RC、岡山旭川RCの3クラブとなります。ホストをお受けいただいたクラブには本当に感謝申し上げます。特にホストファミリーをお引き受け下さいました方々には重ねて感謝申し上げますと共に心より御礼申し上げます。どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。

委員会の後、併せて開催された送別会・壮行会ではローテックスの大橋啓美さんをお迎えし、アウトバウンドの為にフロリダへの留学経験や、留学後の進路をアメリカの大学への進学に切り替えたことなどの経験談をお話いただきました。旅立つ派遣学生にとってはとてもよい刺激になったと思います。またインバウンドのジニアさんに、日本留学中に修業した空手道場の子供たちと一緒に型の披露をしていただきました。当人にとってとてもよい思い出になったことだと思います。

最後になりましたが、青少年交換委員会の委員の皆様方には1年間大変お世話になり本当に有難うございました。派遣学生の方々が立派に成長して来年、元気で帰国されんこと、また受入れ学生の方々が日本のよい文化をより多く経験されますように心よりお祈り申し上げます。



国際ロータリー第2690地区 青少年交換学生送別会・壮行会 2018年6月16日 於 倉敷アイビースクエア

国際ロータリー第2690地区



智頭・鳥取・鳥取西ロータリークラブ合同植樹
テーマ:「ロータリーの森」環境保全プロジェクト

鳥取県東部地域を支える水、そしてそれを蓄える森。間伐と広葉樹林のため、鳥取県東部下流域の鳥取RC、鳥取西RCとともに、上流域の智頭RCの所有する「ロータリーの森」で70本の植樹を行いました。



米子南ロータリークラブ

テーマ:環境共生型里山保全活動及び緑と景観街づくり活動

会員一人一本の植樹と、「南の森」に、地元小学生約20名と共に6本の山桜とつつじの苗木80本の植樹作業・「体験学習」を通した循環型里山保全活動を実施しました。

また、緑と景観街づくり活動として、米子市水道局新庁舎記念に「紅枝垂れ桜」植樹の寄贈を行いました。



松江東ロータリークラブ

テーマ:松江市内の山林に、山ザクラ200本を寄贈植樹

ロータリアン、会員の家族、松江市職員、森林組合職員の総勢約30名が参加。森林組合の方から植樹方法の指導を受け、慣れない鋤を使って掘っては丁寧に苗を据え、優しく泥をかけて、しっかり足で押さえるという植樹作業を皆で行いました。来年から毎年一度の草刈り(手作業)を向こう5年間、継続事業として、伝達していくことを予定しています。



第4グループ合同植樹

テーマ:国際ロータリー第2690地区 第4グループ5クラブ合同植樹プロジェクト

NPO法人しまね樹木医会にご相談し、出雲文化伝承館で開催しました。5クラブのロータリアン90名と出雲西高インターアクトクラブが参加して、赤椿、白椿、クルマツツジ329本の植樹を行い、2基の記念プレートを設置しました。当日の様子は、「出雲ケーブルビジョン」で放映されました。



浜田ロータリークラブ

テーマ:アースデイ記念・市民憩いの場整備事業

島根県並びに浜田市の協力を得て、本年2月に完成した「浜田第2ダム多目的広場」に、桜33本・サツキ21本の合計54本の植樹を実施しました。植樹の様子は、地元ケーブルテレビでのニュースや、新聞各紙にも取り上げられ、植樹だけでなく、RCの存在を地域の方に認識していただいた事業となりました。植樹後は、島根県に寄贈し、浜田市で管理していただく契約締結を交わしました。

井原ロータリークラブ

テーマ:経ヶ丸梅林植樹整備・記念碑建立及び
会員事業所植樹プロジェクト



以前から継続事業として行っていた「経ヶ丸グリーンパーク」の「ロータリーの梅林」には、1996年度より既に155本の植樹をしてきましたが、本年度、新たな梅の木12本の植樹と、記念碑を設置しました。また、会員の協力の元、会員事業所の敷地等に、各々新たに植樹を行い、本年度の植樹本数は合計100本となりました。



2017-18 年度 植樹プロジェクト報告



倉敷瀬戸内ロータリークラブ

テーマ：世界アースデイに向けて会員1人1本植樹プロジェクト
当クラブ創立20周年記念事業として10年間継続してきた、倉敷市東部最終処分場での桜の植樹（枯れた苗木7本の植え替え）を実施しました。

また、RI会長の「環境の持続性で各会員に1本植樹すること」の提唱に則り、会員一人ずつにブルーベリー挿木苗2種を配布。各自、事業所や自宅などで今後栽培することとしました。



津山中央ロータリークラブ

テーマ：児童養護施設の児童・生徒と行う桜の植樹と環境学習

「地区補助金」を活用し、環境保全・青少年育成を目的とし、「津山圏域クリーンセンター」施設内にヤマザクラ23本を養護施設の児童・生徒・職員と共に植樹しました。当クラブは、毎年、補助金を活用して津山およびその周辺地域に植樹を続けており、今年度も会員数と同等の23本の植樹を実施しました。



備前ロータリークラブ

テーマ：備前ロータリークラブ 植栽(植樹プロジェクト)

本事業の狙いは「森林体験を通して地域住民と交流を深め、豊かな心を持つ児童を育てる」というテーマで、地元小学校及び地域団体などと連携し植樹活動を行う事です。いんべ緑の少年隊、片上・伊部つながりの森実行委員会、伊部区有林管理会のご協力をいただき、4日間に分けて地元の3つの小学校と地域住民、ロータリアンが参加。合計600本のももたろう松の植樹を実施しました。



玉野ロータリークラブ

テーマ：●石島緑の再生プロジェクト第二弾

●玉野ロータリークラブ創立50周年記念樹の植樹

石島緑の再生プロジェクト第二弾については、2011年8月に森林火災にて焼失した玉野市石島の山間部への植樹支援に続き、今回は実際に現地へ赴いた上で会員自らの手で植林活動を実施しました。また、クラブ創立50周年を記念してメモリアルツリーを玉野市深山公園へ植樹し、記念プレートも設置しました。以上、会員数35名の植樹を実施しました。



岡山岡南ロータリークラブ

テーマ：環境の持続性への植樹～大滝山福生寺～
災害で荒れた山の斜面の清掃と植樹

大滝山福正寺の三重塔は室町時代の様式を備えた貴重なもので、国指定重要文化財です。また、福生寺、屏風岩付近を含む熊山南面一帯はハイキングコースも多く、岡山県指定の郷土自然保護地域となっていますが、災害で樹木が流されたことを知り、山裾の清掃と植樹を行いました。米山奨学生も参加してイロハモミジやソメイヨシノなど合計9本の植樹を実施しました。

参加クラブ数 58クラブ

植樹総数 3,822本



国際ロータリー第2690地区

2017-18年度 シェアシステム 地区財団活動資金(DDF)使用に関する報告

(日本円の換算は参考数値であり、地区補助金申請時のRレート 1ドル=111円で計算しています。)

収 入	ドル	円
3年前の年次寄付額の50%	228,015.45	25,309,712
恒久基金収益の50%	22,001.91	2,442,212
前年度からのDDF繰越額等	253,243.83	28,110,062
合 計①	503,261.19	55,861,986

支 出	申請額		使用額	
	ドル	円	ドル	円
地区補助金: DG1860223(上限額=124,454ドル)*注1				
■クラブ提唱 奉仕プロジェクト*注2	49,131	5,453,540	44,529	4,942,718
*25クラブ... 鳥取北RC/玉島RC/岡山南RC/鳥取RC/大社RC 大田RC/笠岡RC/岡山城RC/境港RC/倉敷東RC 岡山東RC/新見RC/岡山北西RC/倉敷水島RC 倉吉東RC/米子中央RC/米子南RC/出雲中央RC 井原RC /津山中央RC/出雲南RC/岡山後楽園RC 米子東RC/津山西RC/岡山西南RC				
■奨学金 3名	39,000	4,329,000	39,000	4,329,000
■臨時費(補助金額の20%まで申請可)*注3	24,891	2,762,901		
■奨学生オリエンテーション渡航費			594	65,934
■奨学生オリエンテーション会場費	500	55,500	273	30,303
■補助金管理セミナー会場費・印刷費	7,300	810,300	5,726	635,586
■補助金管理運営費(補助金額の3%まで申請可)	3,632	403,152	947	105,117
小計	124,454	13,814,392	② 91,069	10,108,658
DDF寄贈				
■ポリオプラスへの寄贈			95,000	10,544,999
■ロータリー平和フェロシップへの寄贈			25,000	2,775,000
小計			③ 120,000	13,319,999
合計④=(②+③)			211,069	23,428,656

差 額	ドル	円
2018-19年度への繰越額(①-④) *注4	292,192.19	32,433,330

- *注1 地区補助金の申請上限額は(3年前の年次寄付額の50% + 前年度の恒久基金収益の50%) × 50% です。
- *注2 各クラブ提唱奉仕プロジェクトの詳細は2017-18年度地区活動報告へ掲載します。
- *注3 地区補助金は一括申請のため、臨時費を申請し、年度途中で承認されたプロジェクトや経費に充てることができます。
奨学生オリエンテーション渡航費は臨時費からの支出です。
- *注4 実際には補助金管理口座の利息が加算されて繰り越されます。

地区便り 新会員のご紹介

4月 新会員

松浦 孝之
倉敷東RC高田 保幸
倉敷東RC安藤 正樹
倉敷東RC森 由美子
米子RC佐藤 誠士
米子RC三原 修一
米子RC山口 雅弘
米子RC種田 宏幸
米子東RC

5月 新会員

福嶋 徹己
松江RC小泉 俊也
松江南RC中村 崇
松江南RC大内 章智
松江南RC高宮 克彦
隠岐西郷RC大澤 雅樹
出雲RC内村 哲也
出雲RC園山 隆一
大社RC

5月 新会員

平田 真一
倉敷東RC柴田 正志
真庭RC阿部 和也
岡山RC園田 健治
岡山RC藤原 泰樹
岡山中央RC石川 和子
岡山丸の内RC

地区便り ロータリー財団への寄付

大口寄付者 メジャー・ドナー

松本 祐二
益田西RC

メジャー・ドナー

桑田 育郎
倉敷水島RC

ベネファクター

楠戸 登美夫
倉敷中央RC

ポリオプラス

道明 道弘
倉敷中央RC岡 清一
倉敷南RC

ポール・ハリス・フェロー

山本 浩一
倉吉中央RC牧浦 繁雄
鳥取北RC田村 文男
鳥取北RC

ポール・ハリス・フェロー

秋鹿 誠
松江しんじ湖RC岡田 久樹
江津RC寺戸 俊幸
益田西RC妹尾 喜美子
井原RC土肥 三郎
井原RC萩原 邦章
倉敷南RC道廣 義明
美作RC菊池 毅
美作RC

ポール・ハリス・フェロー

小仁井 堅一
岡山城RC

クラブポリオプラス寄付

米子東RC	925.93ドル
平田RC	1,320.00ドル
益田RC	435.19ドル
総社RC	138.00ドル
倉敷中央RC	194.44ドル
岡山城RC	660.00ドル
岡山岡南RC	75.93ドル
岡山西南RC	1,680.00ドル

ポリオプラスにご寄付をいただいた方々

米子東 RC

松浦以佐央、室 敦文、尾沢裕子、元 啓介、平岡憲治、種田宏幸

倉敷水島 RC

辻 俊彦、藤井重信、平井清一、神原彰仁、河村 進、近藤研二、近藤幸二、近藤修六、小山恭男、桑田育郎、松浦利行、宮原一夫
三宅孝一、三宅幸治、中川純一、中田利幸、西本克寛、小野文彦、太田博朗、阪本 均、笹山悦郎、瀧澤 正

津山西 RC

有木淳浩、番原よし浩、廣野勝彦、廣澤大祐、井上昭雄、影山和成、岸部貴之、北村三郎、草刈友美、松永 章、神谷英伸、森 宗柏、森定慈誠
中村早百合、西本美枝子、野口泰俊、野條健正、太田洋一、小椋章光、坂野充典、佐藤みゆき、下迫博幸、下山武紀、高矢満雄、田淵浩巳、田邊九吾
谷口康子、土田美由紀、内田光教、上山良二、山下正憲、吉田藤生

クラブ年次基金

智頭RC	100.00ドル(年次基金)
鳥取北RC	925.00ドル(ミリオンダラーミール)
米子RC	2,677.50ドル(ミリオンダラーミール)
浜田RC	991.00ドル(ミリオンダラーミール)
笠岡RC	224.89ドル(ミリオンダラーミール)
笠岡東RC	183.33ドル(ミリオンダラーミール)
新見RC	730.00ドル(ミリオンダラーミール)
総社RC	936.00ドル(ミリオンダラーミール)
岡山RC	712.96ドル(ミリオンダラーミール)
岡山北RC	277.78ドル(ミリオンダラーミール)
岡山城RC	210.00ドル(財団BOX)
岡山岡南RC	108.93ドル(ミリオンダラーミール)
岡山西南RC	782.27ドル(財団BOX)

年次基金にご寄付をいただいた方々

鳥取北 RC	植田哲朗、角脇篤彦、乾 康彦、田邊賢二
境港 RC	庄司尚史
松江しんじ湖 RC	上田恭己、大内 茂、大西育恵、岡 敏和、小沢秀多、尾添憲男、門脇玲子、貴谷麻以
	久保田和代、古安正好、神保尋伸、高瀬ツヤ子
江津 RC	藤田武利、山崎一成、森脇祐之助、永井良三、本藤繁夫、寺下 衛、室谷卓治、森口裕行
	青木史郎、砂田 忠、高田圭介、石橋孝義、和原勝博、和木田登、原 諭、尾前 豊
	佐々木啓之、柿本礼二、佐多 宗、伊藤誠二、小川泰道、藤田和雄、久保田泰介、三上貴子
	佐々木一成、森下幸生、山藤志哲、平下智隆、押越奈津紀、室崎弘勝、増田敏弘、宮津秀行
浜田 RC	江木修二、江口伸吾、畑岡 匡、樋山陽介、今井久晴、河田邦美、小松原和也、松村哲也
	森須正孝、島田康夫、須山 隆、鶴田英也、吉田 稔
倉敷南 RC	埋見佳治
倉敷水島 RC	荒木淳一、太田博朗
岡山東 RC	石井英行
岡山北西 RC	日笠常信、松村秀治
岡山中央 RC	藤原泰樹
岡山岡南 RC	荒嶋 望

地区便り 米山記念奨学会への寄付

米山功労者メジャーダー



桑田 育郎
倉敷水島RC

米山功労者



須藤 秀民
益田西RC



下迫 博幸
津山西RC

クラブ特別寄付

鳥取RC	22,100円(米山ランチ)
鳥取北RC	100,000円(米山ランチ)
浜田RC	116,000円(米山ランチ)
笠岡RC	200,000円(IM残金寄付)
倉敷南RC	15,552円(米山ランチ)
津山RC	87,000円(米山ランチ)
岡山西南RC	251,665円(米山ランチ・米山BOX)

クラブ普通寄付

岡山後楽園RC	135,000円
---------	----------

個人特別寄付

鳥取 RC

油野利博、天野浩一、安住庸雄、馬場 進、藤縄匡伸、福嶋登美子、船本源司、後藤征二、英 義人、平井耕司、星見清晴、池内勝彦、今井陸雄
石谷暢男、糸川光典、甲斐英則、金坂弘一、木俣信行、岸本信一、小原隆三、小谷文夫、久保真人、倉下光明、真鍋和彦、丸瀬和美、松本宏忠、松浦 広
中村碩男、西田泰二、西田良平、西谷佳和、野口稔浩、小田橋昭仁、荻原善康、大村匡由、尾崎 繁、坂本 哲、嶋田耕一、清水昭生、四宮佑一、塩 宏
杉原伸治、杉山長毅、住川英明、高橋哲夫、高須幸敏、竹内ひとみ、谷口譲二、谷口麻有子、谷本光正、豊島良太、土江征典、若本憲治、浦本知彦
山岸正明、山崎弘嗣、藪内末男、矢野弘之、米原正明、吉田友和、田中忠庸、沖本茂雄、田口哲也

鳥取北 RC 植田哲朗、乾 康彦、前田清吉、田邊賢二、田村文男

松江 RC 森岡隆行

浜田 RC 江口伸吾、畑岡 匡、樋山陽介、今井久晴、岩谷百合雄、松村哲也、大崎 寛、島田康夫、須山 隆、高橋功一、浦田明彦、山口博正、吉田 稔

倉敷水島 RC 太田博朗

津山西 RC 影山和成、西本美枝子、土田美由紀

岡山西 RC 森本 浩平



訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



葛原 淳司(総社RC)
逝去日/2018年5月27日
享年/97歳
入会日/1972年11月26日



太田 英利(岡山西南RC)
逝去日/2018年5月21日
享年/95歳
入会日/1974年1月11日





出席報告 (2018年5月)

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例 会 数	会 員 数				
				7月1日	5月末	内女性 会 員	増減	
第1グループ	智 頭	81.58%	70.59%	4	9	9	0	0
	倉 吉	92.31%	73.56%	4	55	55	2	0
	倉吉中央	95.00%	64.00%	4	24	25	3	1
	倉吉東	100.00%	62.79%	4	44	49	3	5
	鳥 取	100.00%	75.56%	3	61	63	3	2
	鳥取中央	86.49%	82.43%	4	38	39	1	1
	鳥取北	78.49%	70.93%	4	48	48	5	0
	鳥取西	98.06%	81.94%	3	52	54	1	2
	小計(8)	92.51%	73.22%	／	331	342	18	11
第2グループ	境 港	93.88%	71.43%	4	49	44	1	▲5
	米 子	78.92%	54.71%	3	66	76	5	10
	米子中央	78.57%	70.23%	4	33	35	2	2
	米子東	82.50%	70.18%	4	102	111	9	9
	米子南	87.92%	67.92%	4	62	64	4	2
	小計(5)	83.87%	66.92%	／	312	330	21	18
第3グループ	松 江	92.67%	70.35%	4	65	66	1	1
	松江東	89.95%	81.41%	4	53	51	1	▲2
	松江南	88.14%	78.76%	3	68	69	5	1
	松江しんじ湖	90.37%	72.02%	4	51	56	10	5
	隠岐西郷	91.67%	69.79%	4	22	24	2	2
	小計(5)	90.52%	74.79%	／	259	266	19	7
第4グループ	平 田	89.87%	80.38%	4	42	44	2	2
	出 雲	77.27%	70.20%	4	52	55	3	3
	出雲中央	82.96%	77.04%	3	43	46	4	3
	出雲南	94.61%	67.16%	3	66	67	6	1
	大 社	79.90%	64.97%	4	53	55	5	2
	小計(5)	84.90%	71.19%	／	256	267	20	11
第5グループ	江 津	72.22%	64.46%	4	36	34	1	▲2
	浜 田	88.37%	72.51%	3	56	58	3	2
	益 田	100.00%	80.56%	4	19	18	3	▲1
	益田西	83.81%	73.33%	5	23	21	1	▲2
	大 田	86.41%	73.74%	4	28	26	4	▲2
	小計(5)	85.12%	72.18%	／	162	157	12	▲5
第6グループ	井 原	82.80%	70.70%	4	42	44	2	2
	笠 岡	95.86%	87.57%	4	43	46	1	3
	笠岡東	88.33%	80.83%	3	42	41	1	▲1
	新 見	91.67%	84.52%	4	21	22	2	1
	総 社	76.92%	68.27%	4	29	28	6	▲1
	総社吉備路	85.83%	80.83%	4	32	31	2	▲1
	高 梁	85.12%	79.17%	4	41	42	0	1
	玉 島	97.30%	91.89%	4	26	30	2	4
	小計(8)	88.00%	80.35%	／	276	284	16	8

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例 会 数	会 員 数				
				7月1日	5月末	内女性 会 員	増減	
第7グループ	児 島	82.86%	71.43%	3	25	25	1	0
	児 島 東	100.00%	97.78%	3	16	15	0	▲1
	倉 敷	100.00%	80.36%	4	82	89	1	7
	倉敷中央	75.56%	68.89%	3	17	18	8	1
	倉敷東	99.32%	91.78%	4	40	43	3	3
	倉敷南	94.17%	71.56%	2	61	60	3	▲1
	倉敷水島	96.36%	81.48%	3	24	23	0	▲1
	倉敷瀬戸内	84.62%	74.15%	4	37	39	2	2
	小計(8)	94.12%	79.83%	／	302	312	18	10
第8グループ	真 庭	85.50%	79.39%	4	34	34	0	0
	美 作	87.88%	84.85%	4	28	27	1	▲1
	津 山	66.67%	62.79%	3	83	87	3	4
	津山中央	72.83%	63.04%	4	26	23	2	▲3
	津山西	84.62%	78.45%	4	31	32	6	1
	小計(5)	77.04%	71.70%	／	202	203	12	1
第9グループ	赤 磐	75.00%	63.89%	3	12	12	0	0
	備 前	77.93%	67.72%	3	54	48	5	▲6
	岡 山	94.17%	74.76%	4	110	112	1	2
	岡 山 東	91.48%	80.87%	4	95	100	0	5
	岡山北西	84.91%	77.83%	4	53	54	4	1
	岡山後楽園	77.51%	66.99%	4	54	53	0	▲1
	小計(6)	87.40%	74.86%	／	378	379	10	1
第10グループ	岡山旭川	81.73%	67.96%	4	25	26	2	1
	岡山中央	68.89%	58.43%	3	34	33	3	▲1
	岡山北	75.61%	65.24%	4	44	41	1	▲3
	岡山南	82.47%	68.83%	4	158	165	20	7
	玉 野	89.52%	78.10%	3	35	35	0	0
	小計(5)	80.91%	68.25%	／	296	300	26	4
第11グループ	岡山備南	90.10%	81.44%	4	30	29	2	▲1
	岡 山 城	85.06%	77.01%	4	22	22	0	0
	岡山岡南	73.40%	61.11%	4	26	25	2	▲1
	岡山丸の内	76.19%	66.67%	3	40	43	3	3
	岡 山 西	86.49%	72.26%	4	70	75	5	5
	岡山西南	90.48%	77.55%	3	56	54	4	▲2
小計(6)	84.49%	72.71%	／	244	248	16	4	

地区クラブ内の状況	
クラブ数	66RC
2017年7月1日会員数	3,018名
2018年5月末日会員数	3,088名
内 女性会員数	188名
純増	70名
2018年5月出席率	make-up後 86.63%
	ホームクラブ 73.29%

地区便り 新会員のご紹介



地区便り ロータリー財団への寄付

ベネファクター



ポリオプラスへの寄付



ポール・ハリス・フェロー



ポール・ハリス・フェロー



クラブポリオプラス寄付

倉吉東RC	1,059.09ドル	笠岡RC	909.09ドル
鳥取西RC	181.82ドル	総社吉備路RC	930.00ドル
平田RC	180.00ドル	玉島RC	750.00ドル
益田西RC	358.49ドル	倉敷瀬戸内RC	1,110.00ドル

ポリオプラスにご寄付をいただいた方々

益田西RC	大谷 さなえ
笠岡RC	小笠 原和壽

クラブ年次基金

智頭RC	100.00ドル(年次基金)	真庭RC	1,262.00ドル
倉吉RC	303.09ドル(ミリオンダラーミール・新会員寄付)	岡山RC	40.00ドル(新会員寄付)
倉吉東RC	631.82ドル(ミリオンダラーミール)	岡山東RC	722.18ドル(ミリオンダラーミール)
倉吉東RC	53.20ドル(新会員寄付)	岡山北西RC	292.91ドル(ミリオンダラーミール)
鳥取西RC	756.36ドル(新会員寄付)	岡山後楽園RC	271.96ドル(ミリオンダラーミール)
松江RC	5,432.00ドル(財団ランチ相当の食事)	岡山北RC	481.82ドル(ミリオンダラーミール)
平田RC	1,353.57ドル(ミリオンダラーミール)	岡山備南RC	81.80ドル(財団BOX)
笠岡RC	936.14ドル(IM残金寄付)	岡山岡南RC	526.84ドル(財団BOX)
笠岡東RC	272.73ドル(ゴルフ同好会より)	岡山西南RC	164.95ドル(財団BOX)

年次基金にご寄付をいただいた方々

倉吉 RC

新井 剛、樋口壽一、樋口俊雄、日野節太郎、廣吉宗一、井戸垣徹男、伊藤文利、岩世 毅、景山正寿、垣田堅二、笠見和則、鹿嶋慎一郎、小林健治、倉都祥行、栗原隆政、牧田侑紀、松田啓一、松井啓介、三木俊一郎、森 和美、森田輝雄、本内俊彦、村木晴一、永岡健治、中村博之、根鈴輝雄、西田篤司、西田龍之介、西谷純美、野島丈夫、小川克彦、岡本博文、沖 礼、大前拓也、大村陽之助、齋木憲久、坂根國之、佐々木福一、清水成真、菅原伸育、菅基元晴、杉島篤美、平 守、高田久之助、寺地 建、鳥飼高嗣、豊田 勲、津村徹夫、馬野慎一郎、若原道昭、山田健太郎、山田悦次、山本博文、山本浩一、八島弘明、八渡和仁、吉田圭子

倉吉東 RC 村田康之、大平純二、富山孝司 鳥取北 RC 松本啓介、道上正規、小林弘尚、米澤信也、米田由起枝、田中和夫、森下泰年

境港 RC 庄司尚史 笠岡 RC 小笠原和壽、山本直樹、関藤英志、久我久徳 倉敷南 RC 神野光男、古田泰幸、三宅 繁、唐川純二、北尾光教、緒方不二丸、横道 彰

倉敷瀬戸内 RC

戸原 勉、江口健一、原 弘道、原田一郎、長谷川寛、池上仁海、香川俊一、川西真也、日下昌平、丸尾重仁、丸山昌巳、三宅英和、森岡雅彦、長沼 徹

中桐真彦、中村 正、中野有一、中山永浩、中山田英樹、西野和弘、大熊清文、小野寛治、小野 保、佐々木伸介、佐藤浩明、下原福子、忠政一行

高島賢二、桐島 勲、塚村治道、山田 齊、吉田衛生、平田啓郎、今村隆英、秦 範吉、桑折祐子、石井康義

津山中央 RC 寺坂磨哉 岡山北西 RC 加戸裕治 岡山南 RC 久保秀一、松畑光彦、恒次明宏、高田 洋

法人寄付

メモリアル・コントリビューター

倉吉 RC 南景山石材 倉吉 RC 杉島 篤美が母 杉島 操子のために

地区便り 米山記念奨学会への寄付

米山功労者



垣田 堅二郎
倉吉 RC



小椋 和彦
倉吉東 RC



山下 卓治
鳥取西 RC



枝木 恭平
笠岡 RC



新井 善久
笠岡東 RC



藤井 崇行
岡山北 RC



網島 良
岡山北 RC

クラブ特別寄付

倉吉東 RC	87,500円(米山ランチ)	岡山中央 RC	17,332円(第10・第11グループ合同IM剰余金)
鳥取北 RC	80,000円(米山ランチ)	岡山南 RC	84,110円(第10・第11グループ合同IM剰余金)
鳥取西 RC	52,400円(米山ランチ)	玉野 RC	85,882円(米山ランチ/第10・第11グループ合同IM剰余金)
出雲南 RC	32,101円(米山BOX)	岡山備前 RC	109,000円(米山BOX)
笠岡 RC	26,400円(米山ランチ)	岡山北 RC	31,215円
笠岡東 RC	30,000円(ゴルフ同好会)	岡山岡南 RC	130,181円(米山ランチ/米山BOX/第10・第11グループ合同IM剰余金)
岡山東 RC	194,964円(米山BOX)	岡山丸の内 RC	39,429円(米山BOX/第10・第11グループ合同IM剰余金)
岡山旭川 RC	260,000円(米山BOX・米山ランチ)	岡山西南 RC	18,145円(米山BOX)
岡山旭川 RC	13,254円(第10・第11グループ合同IM剰余金)		

クラブ普通寄付

米子 RC 175,000円

個人特別寄付

倉吉 RC

景山正寿、寺地 建、鹿嶋慎一郎、新井 剛、樋口壽一、樋口俊雄、日野節太郎、廣吉宗一、井戸垣徹男、伊藤文利、岩世 毅、栗原隆政、笠見和則、小林健治、倉都祥行、八渡和仁、牧田侑紀、松田啓一、松井啓介、三木俊一郎、中村博之、森 和美、森田輝雄、本内俊彦、村木晴一、永岡健治、根鈴輝雄、西田龍之介、西谷純美、野島丈夫、岡本博文、沖 礼、大前拓也、小川克彦、大村陽之助、齋木憲久、佐々木福一、坂根國之、清水成真、菅原伸育、杉島篤美、西田篤司、平 守、高田久之助、寺地 建、鳥飼高嗣、豊田 勲、津村徹夫、馬野慎一郎、若原道昭、山田健太郎、山田悦次、山本博文、山本浩一、八島弘明、吉田圭子

鳥取北 RC 山根敏男、松本啓介、道上正規、小林弘尚、米田由起枝、森本美明、坂根 裕、米澤信也、田中和夫、森下泰年

鳥取西 RC 児島 良

米子東 RC 澤 耕司、高田泰司 江津 RC 小川泰道 笠岡 RC 山名照知、松尾 明、吉本仁志、久我久徳、吉岡大介、藤澤晴康

玉島 RC 植村庸治郎

津山西 RC 有木淳浩、松永 章、神谷英伸、野條健正、吉田藤生 岡山岡南 RC 荒嶋 望

法人特別寄付

倉吉 RC 南景山石材

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



多胡 幸郎 (津山 RC)
逝去日/2018年6月18日
享年/73歳
入会日/1987年6月1日



香川 昌久 (岡山南 RC)
逝去日/2018年6月22日
享年/83歳
入会日/1989年10月7日

月信出版・HP管理委員会より

2017-18年池上正ガバナー
年度のHPならびにガバナー
月信は、デジタルアーカイブ
のサイトで引き続きご覧いた
だくことができます。
(スマホ・タブレット対応)

RID2690地区 歴代ガバナー
デジタルアーカイブのご案内

2010年以降の歴代ガバナーのHP、
ガバナー 月信が閲覧できます。

Q ローターリー2690アーカイブ 検索

編集後記

1年間、本当に有難うございました。

2017-18年度ガバナー月信の発行に当たり、2690地区のバスターガバナー、ガバナー補佐、各委員会委員
長他、御寄稿いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

ガバナーメッセージ、米山奨学生・青少年交換学生に関する情報、各委員会活動報告、地区大会、地区便り
などのタイムリーな情報の掲載ならびに、正確な記事内容となるよう細心の注意を心掛けましたがミスも
あり、該当者の方々に、この場を借りて、心よりお詫び申し上げます。

最後に、月信発行にご尽力いただいた月信メンバー(3月に転勤された3人含め)、ガバナー事務所、印刷に
ご協力を頂いた斉藤様(倉敷南 RC)、多忙な中、1年以上の長期にわたり本当に有難うございました。

月信出版・HP管理委員長 若狭 宏則

2017-18年度月信出版・HP管理委員会

●委員長/若狭宏則 ●副委員長/岡 清一 ●委員/菊本 憲文、齋藤 浩一郎、山本 由佳里、沼本 健一、中川 泰雄
●委員(転勤のため 2018年3月迄)/久保田 祥之、種田 俊彦、田中 真一

出席報告(2018年6月)

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例 会数	会 員 数			
				7月1日	6月末	内女性 会 員	増減
第1グループ	智 頭	75.00%	64.71%	4	9	8	0 ▲1
	倉 吉	99.04%	75.48%	4	55	54	2 ▲1
	倉吉中央	100.00%	73.33%	3	24	25	3 1
	倉吉東	98.48%	68.18%	3	44	48	2 4
	鳥 取	100.00%	77.45%	4	61	63	3 2
	鳥取中央	87.83%	86.09%	3	38	39	1 1
	鳥取北	78.68%	73.53%	3	48	46	5 ▲2
	鳥取西	88.52%	78.95%	4	52	54	1 2
	小計(8)	93.04%	76.05%		331	337	17 6
第2グループ	境 港	93.10%	76.26%	4	49	41	1 ▲8
	米 子	85.78%	60.89%	3	66	73	4 7
	米子中央	83.81%	69.39%	3	33	34	2 1
	米子東	77.54%	60.37%	3	102	108	9 6
	米子南	86.61%	69.87%	4	62	64	4 2
	小計(5)	84.22%	65.72%		312	320	20 8
第3グループ	松 江	91.76%	75.28%	3	65	64	1 ▲1
	松江東	90.07%	84.77%	3	53	50	0 ▲3
	松江南	90.00%	80.81%	3	68	68	5 0
	松江しんじ湖	88.96%	72.84%	3	51	57	10 6
	隠岐西郷	97.22%	79.17%	3	22	23	2 1
第4グループ	小計(5)	90.89%	78.45%		259	262	18 3
第5グループ	平 田	90.08%	85.12%	3	42	45	2 3
	出 雲	80.10%	73.13%	4	52	54	3 2
	出雲中央	91.85%	86.67%	3	43	44	4 1
	出雲南	97.38%	77.07%	4	66	65	6 ▲1
第6グループ	大 社	72.48%	66.44%	3	53	54	5 1
	小計(5)	87.29%	76.95%		256	262	20 6
第7グループ	江 津	74.19%	68.89%	3	36	33	1 ▲3
	浜 田	83.91%	75.86%	3	56	56	3 0
	益 田	100.00%	83.33%	4	19	18	3 ▲1
	益田西	86.89%	75.00%	3	23	19	0 ▲4
	大 田	90.00%	80.52%	3	28	27	4 ▲1
第8グループ	小計(5)	85.83%	76.32%		162	153	11 ▲9
第9グループ	井 原	79.11%	69.62%	4	42	41	2 ▲1
	笠 岡	95.63%	90.66%	4	43	48	2 5
	笠岡東	91.82%	81.76%	4	42	40	0 ▲2
	新 見	100.00%	84.13%	3	21	22	2 1
第10グループ	総 社	80.52%	72.73%	3	29	27	6 ▲2
	総社吉備路	84.44%	82.22%	3	32	31	2 ▲1
	高 梁	86.51%	81.75%	3	41	41	0 0
	玉 島	94.05%	88.10%	3	26	29	2 3
	小計(8)	88.83%	81.47%		276	279	16 3

クラブ名	make-up 後 出席率	ホームクラブ 出席率	例 会数	会 員 数			
				7月1日	6月末	内女性 会 員	増減
第7グループ	児 島	82.86%	74.29%	3	25	24	1 ▲1
	児 島 東	91.11%	80.00%	3	16	14	0 ▲2
	倉 敷	99.20%	82.33%	3	82	87	1 5
	倉敷中央	73.33%	71.11%	3	17	18	8 1
	倉敷東	100.00%	94.64%	3	40	44	4 4
	倉敷南	93.85%	73.84%	5	61	65	3 4
	倉敷水島	94.23%	86.54%	3	24	23	0 ▲1
	倉敷瀬戸内	87.18%	78.30%	3	37	37	2 0
	小計(8)	93.29%	79.85%		302	312	19 10
第8グループ	真 庭	87.76%	84.69%	3	34	32	0 ▲2
	美 作	90.00%	90.00%	4	28	25	1 ▲3
	津 山	73.31%	66.28%	4	83	84	3 1
	津山中央	71.74%	68.48%	4	26	20	2 ▲6
	津 山 西	85.25%	85.25%	4	31	32	6 1
第9グループ	小計(5)	79.15%	75.17%		202	193	12 ▲9
第10グループ	赤 磐	81.25%	69.57%	4	12	11	0 ▲1
	備 前	78.13%	67.25%	4	54	46	5 ▲8
	岡 山	92.09%	75.06%	4	110	110	1 0
	岡山東	91.75%	85.39%	4	95	99	0 4
第11グループ	岡山北西	85.85%	77.83%	4	53	51	4 ▲2
	岡山後楽園	77.88%	69.23%	4	54	51	0 ▲3
	小計(6)	86.93%	76.36%		378	368	10 ▲10
第12グループ	岡山旭川	70.19%	65.38%	4	25	26	2 1
	岡山中央	69.05%	56.35%	4	34	29	3 ▲5
	岡山北	79.88%	65.85%	4	44	39	1 ▲5
	岡山南	78.65%	64.15%	4	158	163	20 5
	玉 野	90.29%	76.57%	5	35	35	0 0
第13グループ	小計(5)	78.78%	65.49%		296	292	26 ▲4
	岡山備南	85.42%	82.98%	4	30	28	2 ▲2
	岡山城	85.23%	78.41%	4	22	21	0 ▲1
	岡山岡南	70.33%	61.11%	4	26	24	2 ▲2
	岡山丸の内	76.19%	71.43%	4	40	41	3 1
第14グループ	岡山西	89.12%	77.13%	4	70	71	5 1
	岡山西南	89.02%	76.83%	5	56	51	4 ▲5
	小計(6)	84.44%	75.28%		244	236	16 ▲8

地区クラブ内の状況

クラブ数	66RC
2017年7月1日会員数	3,018名
2018年6月末日会員数	3,014名
内 女性会員数	185名
純増	▲4名
2018年6月出席率	make-up後 86.66% ホームクラブ 74.85%



国際ロータリー第2690地区 池上 正ガバナー事務所

〒712-8011 岡山県倉敷市連島町連島133-1 株式会社丸文 内
 TEL: 086-476-2690 FAX: 086-476-2660
 E-mail: ikegami-2690@vesta.ocn.ne.jp
 HP: <http://2017.rid2690.gr.jp/>